

2020年度 鉄道安全報告書



上田電鉄株式会社

ごあいさつ

上田電鉄の安全報告書をご覧いただき、誠にありがとうございます。

鉄道事業の運営に当っては、施設・車両の不具合やヒューマンエラーに加え、甚大な被害をもたらす異常気象など様々なリスクがあり、安全を確保するには、このようなリスクをしっかりと認識し対応していくことが重要であると考えております。本報告書は、このような考え方にに基づき、より安全性を高めるための方針や施策を報告するものです。

2019年度は安全性や信頼性の向上を目指して、レール・枕木の交換、軌道道床の硬質構造化、電路設備の更新などを実施いたしました。また、運用面においても異常時訓練や業務研究会の開催など継続的に取り組んでおります。

2019年10月13日、東日本台風による千曲川の増水により、別所線千曲川橋梁の一部が崩落するという災害を受け、現在は上田駅～城下駅間をバスで代替輸送しています。復旧工事については、各種補助制度等を活用して2021年春の全線開通を目指して実施しています。

私どもは、鉄道をご利用のお客様や沿線にお住いの皆様、加えて、社員や協力企業メンバーの「安全・安心」を確保し、地域から信頼される鉄道であり続けられるよう、取り組んでまいります。本報告書でのお気づきの点やご意見などをお寄せいただければ幸いです。

2020年 7月

上田電鉄株式会社

代表取締役社長 山本 修

1. 基本方針と安全目標

(1) 基本方針

当社の経営理念の第一は、安全・安心の確保です。「安全方針」「行動規範」を次のように掲げ、社長以下従業員全員に周知・徹底しています。

【安全方針】

「安全の確保」は鉄道事業の最大かつ最重要の、お客さまに対する責務である。

その安全は、役職員一人ひとりがルールの意味を認識しかつ遵守し、正則作業を確実に遂行することによって支えられている。

私たちは鉄道事業を担う誇りを共に持ち、役職員相互の双方向コミュニケーションをしっかりと行い、安全の障害となる問題を一体となって速やかに解決し、このお客さまに対する責務を誠実に果たし社会に貢献する。

【行動規範】

- ① 一致協力して輸送の安全確保に努める。
- ② 輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正・忠実に職務を遂行する。
- ③ 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努める。
- ④ 職務の遂行に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のあるときは最も安全と思われる取扱をする。
- ⑤ 事故、災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、速やかに安全適切な処置をとる。
- ⑥ 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保する。
- ⑦ 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦する。

(2) 安全目標

区 分	目 標
鉄道運転事故（衝突・脱線・火災等の有責事故）	発生させない
インシデント（鉄道運転事故が発生する恐れのある事態）	発生させない

(3) 重点施策

- ① 問題点の早期把握による安全対策の推進
役職員相互の双方向コミュニケーションを活性化することにより、問題点を早期に把握し、迅速な対応を行う。
- ② 事故情報の確実な伝達と対策実施による再発防止
自社および他社の事故情報を迅速、正確に職員に伝達し、必要な対策を速やかに実施する。また、過去の事故事例を踏まえ現在の状況を検証するとともに、必要により見直すことで同種事故の再発防止を図る。
- ③ 事故発生時の対応力向上
事故想定訓練を定期的実施し、その結果の振り返りや反省点をもとに対応に反映さ

せることにより、各職員の事故対応力の向上を図る。

④ 管理監督者による事故防止の取組み

管理監督者による添乗指導等、現場作業への立ち合い実施により、気付き等を直接指導することで技能の向上と事故防止を図る。

2. 事故等の発生状況とその再発防止措置（2019年度）

(1) 鉄道運転事故

2019年度中の鉄道運転事故はありませんでした。

(2) 輸送障害

2019年度の輸送障害は、計5件発生しており、原因は次の表のとおり分類されます。

設備の故障等	自然災害	第三者による事故等
1件	4件	0件

設備の故障等が原因であるものは、その都度対策を実施し再発防止に努めております。自然災害の原因は、雷害、水害、雪害が原因ですが、10月13日に発生した台風19号による千曲川橋梁崩落災害では、現在も上田～城下間は代行バスで運行を行っておりご利用の皆様にはご迷惑をお掛けしております。

台風19号による災害について

10月12日（土）

- ・15:30 台風接近による大雨のため、別所線全線で運転見合わせ

10月13日（日）

- ・8:00 千曲川左岸堤防が増水により削られ千曲川橋梁崩落

10月15日（火）

- ・上田～下之郷間代行バス、下之郷～別所温泉間電車により運転再開

11月16日（土）

- ・電車運転区間を城下駅まで延長。上田～城下間は代行バスで運行。



2019年10月13日撮影



2020年6月12日撮影



2019年10月15日撮影



2019年5月15日撮影

・被災した橋台の新設工事が予定通り終了いたしました。6月～10月の千曲川出水期の期間は現地での工事を一時中断し、11月より復旧工事を再開、2021年春の全線開通を予定しております。

(3) インシデント

国土交通省へ報告する、インシデントの発生はありませんでした。

(4) 行政指導等

国土交通省より行政指導等はありませんでした。

3. 安全確保の取組み

(1) 安全輸送対策工事

当社では安全安定輸送を継続するため、安全輸送対策に取り組んでいます。主な安全輸送対策として、軌間保持のためのコンクリートまくら木への交換、老朽化したまくら木の交換、軌道道床の硬質構造化、電路設備の更新等を実施しております。

2020年度以降も継続して着実な安全対策の実施に努めてまいります。

2019年度安全輸送対策

事業名称	実施箇所
硬頭レール化	中塩田～塩田町間 162.5m
コンクリートまくら木化	上田～別所温泉間 308本
まくら木交換	中塩田21分岐枕木
軌道道床硬質構造化	西塩田踏切20m、KGパネル化
高圧配電線、き電線ケーブルの更新	中塩田～八木沢間 2.55km

安全輸送対策事業費

単位：千円

2019年度実績	2020年度計画
47,666	94,515



硬頭レール化、軌道道床硬質構造化



高圧配電線、き電線ケーブルの更新

(2) その他安全対策

- ・線路道床が固結のため排水不良を起こし、枕木の支持が不安定となっている箇所の道床交換63m
- ・軌道検測器と動揺試験機により検出された、整備基準外の箇所についてのつき固め455m
- ・車両 1001編成、1004編成の定期検査
1003編成の車輪削正



(3) 人材教育

- ・新規就業者には各部門担当者により業務に関する教育を実施、鉄道係員としての基礎知識を習得させています。
- ・運転、駅、技術の各担当係員には年間の教育訓練計画をもとに教育を行い、知識の充実、技術・技能の向上に努めています。
- ・毎月職員を対象に開催している「業務研究会」の場で、自社および他社の事故事例を共有するとともに、事故発生の原因・背景・対策を学ばせることで、事故防止の要点を教育指導しています。



指導通信式運転教育



「介助・見守り」の教育

(4) 異常時の訓練

異常時を想定し6月25日、26日に、お客様の避難誘導や救援列車の連結訓練などの異常時運転取扱訓練を実施しました。

また、列車の脱線事故を想定し6月28日に、油圧ジャッキによる脱線復旧訓練を実施しました。



異常時運転取扱訓練（連結、解放訓練）



脱線復旧訓練（油圧ジャッキ操作）

(5) 安全推進会議の開催

四半期ごとに安全推進会議を開催して、過去に発生した運転支障（途中停車、踏切障害、輸送障害等）の発生状況の再確認と原因・対策について振り返りを行い、対策内容の効果について検証ならびに確認を行っています。

また、事故には至らなかったもののヒヤリとした、ハットしたという情報を社内各職場より収集・共有し、問題の早期発見につなげています。

- (6) 夏季および年末年始輸送安全総点検時の社長、安全統括管理者による安全巡視で線路、踏切等の安全が確保できているか確認を行い、改善点の指示をしました。



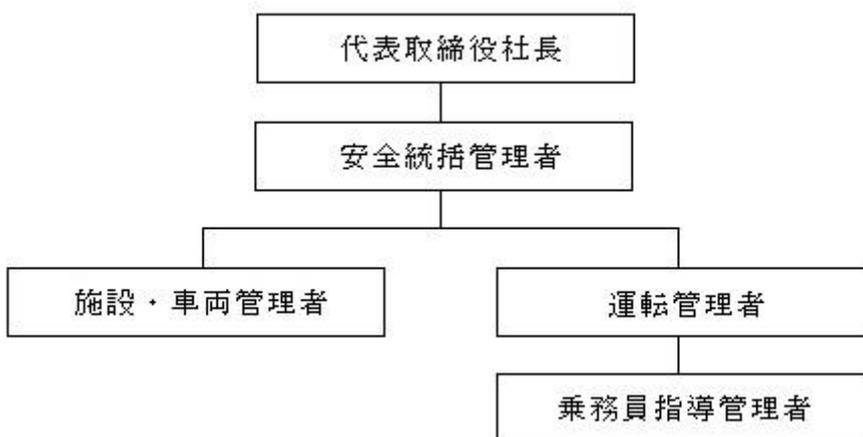
年末年始輸送安全総点検・安全巡視

- (7) 意見交換会等の開催

役職員相互の双方向コミュニケーションを踏まえた社長・安全統括管理者・運転管理者等による職員との面談や意見交換会の実施、現場会議への参加などにより、職場環境の改善や安全意識の向上を図っています。

4. 当社の安全管理体制

代表取締役社長	輸送の安全に関する業務の最終的な責任を負う
安全統括管理者	輸送の安全の確保に関する業務を統括する
運転管理者	安全統括管理者の下、運転に関する事項を統括する
施設・車両管理者	安全統括管理者の下、施設・車両に関する事項を統括する
乗務員指導管理者	運転管理者の下、運転士の資質の保持に関する事項を管理する



5. 発行 2020年 7月

6. 連絡先

安全報告書へのご意見、ご感想をお寄せください。

上田電鉄株式会社

長野県上田市下之郷498

TEL 0268-39-7117 (月～金 9時00分～17時00分)

FAX 0268-38-7951

E-mail unyu@ukg.co.jp